

# 「農地・農業用施設の今昔」

紙芝居等の舞台となった農地・農業用施設の今

■ 県北広域振興局農政部二戸農林振興センター 農村整備室・県南広域振興局農政部遠野農林振興センター

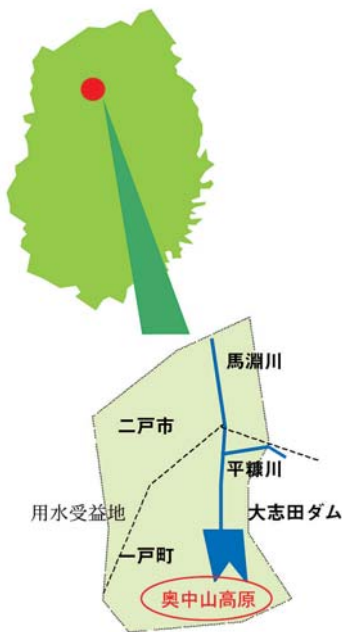
今回は、9月号に続いて、「農業農村整備紙芝居※1」や「民話」の舞台となった農地や農業用施設の今をご紹介します。

※1「農業農村整備紙芝居」とは

郷土の先人達が築き上げてきた農地や農業用水の開発の歴史を、次代を担う子どもたちに伝え、ふるさとへの愛着心や施設への愛護心を持ってもらおうと、県農林水産部で平成12年から制作しているもの。

## 1 奥中山高原 (二戸郡一戸町)

奥中山高原は、北上高地の北部に位置する、標高400〜600mのなだらかな高原で、現在では冷涼な自然環境を活かしたレタスなどの高冷地野菜の一大生産地に成長しています。



農業農村整備紙芝居『いのちの大地』は、今から100年ほど前、「佐市郎夫婦」が、村人の協力を得ながら、二戸郡一戸町にある奥中山地域の広大な荒地を、一大農地に作り上げたお話です。

当時、この地域は、郡内で一番広い平原でしたが、林や沼が多く、オオカミも出ることから、荒地となっていました。

「佐市郎夫婦」は、広い畑をつくるため、大きい沼の水を抜くことにしました。水を流す水路を一年近くも掘り続け、やっとの思いで完成させました。そして、水を抜いた沼を耕し大豆を植え、畑いっぱい大豆を育てました。その後も、村人みんなの生活を楽にするため、収入源となる甘藍(キヤベツ)の栽培を成功させ、冷涼で育たないと言われた米を、ため池を作って水を温めてから田んぼに流すなどして、田一面に金色の稲穂が輝くまでにしました。



佐市郎はその後も、子供の教育のために小学校を開いたり、冷涼な気候を利用して地域の水を利用して「天然水」として売るなど、様々な業績を収め、後に多くの人から、「奥中山開拓の父」と讃えられています。

奥中山地域は現在、高標高地域の冷涼な気候を利用し、レタスなどの栽培が盛んに行われていますが、畑地へのかんがい施設が未整備なため天候の影響を受けやすく、生産量や品質が不安定な状況にあります。

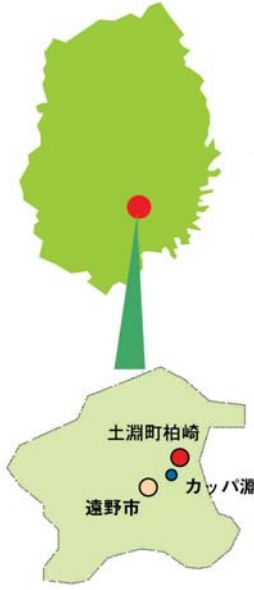
そうした課題を解決するため、現在、県営畑地帯総合整備事業により、畑地かんがい施設の整備を進めています。

また、地域の有志が集まり、「奥中山高原原菜魚湖会」を結成し、水源である大志田ダムの上流にヒマワリや菜の花の種まき等を行い、奥中山地域の活性化や美しい景観づくりを目指した取組が展開されています。

## 2 オクナイサマの田植え(遠野市)

カッパや座敷童など、遠野に伝わる不思議な話が119話にまとめられ、平成22年に発行100周年を迎えた柳田國男の著書『遠野物語』。この第15話に記載されている「オクナイサマの田植え」を紹介します。

カッパ淵や伝承園等で知られる遠野市土淵町内の柏崎に伝わるお話です。



ある年のこと、とある家で田植えの人手が足りなくて困っていました。すると、どこからともなく小さな男の子が現れ、「おれも手伝ってやるがら」と、にこにこ顔で話しかけてきました。この家の主人は、「こんなに小さな童子ではなあ」と思いましたが、まずは男の子の言うとおりに働いてもらうことにしました。

男の子は、意外に働き者でした。昼飯時になり、ご馳走を広げて呼んでも、男の子はどこにも見当たりません。飽きて帰ってしまったのかと思っていきましたが、昼過ぎにはいつの間にか戻って働いてくれました。



【オクナイサマ】

ども、晩には来て夕飯食べておぐれんせや」と誘いましたが、待っても待っても男の子は現れません。

ところが、主人が家に帰ってみると、縁側に子どものような小さな足跡がペタペタとたくさんついていました。

みんながおかしいなあと思つて、その跡をたどって行くと、足跡は部屋の中に入り、オクナイサマの神棚のところまでびたりと止まっています。もしやと思つて、神

男の子がよく働いてくれたおかげで、その日のうちに田植えを全部終わることが出来ました。主人はたいそう喜んで、「どこのどなた様だかわがね

棚の扉をそうと押し開いてみると、何とオクナイサマの神像の腰から下は、田の泥で一面に汚れていたということです。現在、この物語の舞台となった柏崎の一部は、経営体育成基盤整備事業土淵地区としてほ場整備を行っており、平成25年度の事業完了を目指しています。事業完了後には、事業目的の「生産コストや施設の維持管理費の低減」が達成でき、オクナイサマの出番は少なくなるかもしれませんが、農繁期などに担い手が忙しくなれば、トラクターを運転したり、畦畔の草刈りをするオクナイサマの姿が見られるかもしれませ



【ほ場整備前】



【ほ場整備後】

【土淵地区のほ場整備前後の比較写真】

### 【土淵地区 豆知識】

「カッパ淵」は、地区内を流れる蓮池(はせき)川にあります。土淵地区では、上流から流れてくる土砂の堆積により、淵が埋まらないような工夫も行っています。

●このページに関するお問い合わせ

岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課

Tel019-629-5674 / Fax019-629-5679 / E-mail:AF0006@pref.iwate.jp